

## 普及活動情勢報告（令和2年9月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

### 関係機関とI o Pプロジェクト等の取り組み状況を共有！ ～令和2年度第1回安芸地区環境制御技術普及推進PT会～



8月20日、JA高知県あき支所において第1回安芸地区環境制御技術普及推進PT会を開催し、農業改良普及課職員とJA営農指導員、農業イノベーション推進課職員の21人が出席しました。

農業改良普及課からは、高知県が進めるI o Pプロジェクトの概要と安芸地区におけるプロジェクトの取り組み状況を説明しました。また、振興センターとJAは、本年度の環境制御技術に関する取り組み計画や指導方針を共有し、連携して取り組んでいくことを確認しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、地域の環境制御技術の普及を行います。

### 先進事例に学べ！～ポンカン担い手対策～



8月26日、農業改良普及課室戸支所は、東洋町ポンカン振興対策協議会（以下、協議会）メンバー12人と、香南市のみかん産地における担い手育成について先進事例調査を実施しました。

将来の担い手となる「地域おこし協力隊員」の受入体制や受入1年目で見えてきた課題等について、（株）山北みらい代表取締役社長と指導農家から説明を受けました。

室戸支所は、今回の先進事例を参考に、東洋町のポンカン産地でどのような受入体制を整えるか、協議会や関係機関と連携して検討していきます。

### ナスフザリウム立枯病対策は『予防』が重要！～合同ナス部会～



9月9日、JA高知県あき支所で園芸研究会安芸ブロック・安芸支部園芸部園芸研究会合同ナス部会が開催され、生産者13人が出席しました。

今回は、近年安芸地区で問題となっているナスフザリウム立枯病について勉強会を行い、農業改良普及課は効果的な防除体系を紹介し『芽かき・整枝・収穫作業直後の予防散布』の重要性を周知しました。また、農業技術センターからは本病害の発生生態と防除対策について説明がありました。

生産者からは発生源や感染経路など多くの質問が出され、今後に繋がる勉強会となりました。

## 青年農業士主催の野外授業 ～地域ぐるみでハスモンヨトウを捕獲しよう大作戦～



9月9日、芸西小学校の3年生児童29人を対象に、農業改良普及課と青年農業士ら20人で、ナスやピーマンの害虫を捕獲する体験学習を行いました。

体験学習で児童は、ペットボトルで作ったトラップに、害虫（ハスモンヨトウのオス成虫）を誘引するフェロモンを入れ、協力農家の敷地に設置しました。児童はフェロモンの匂いを嗅いでみたり、トラップの構造を観察したりと、興味津々の様子でした。

次回は、トラップを回収し、害虫頭数を計測して学習をまとめます。

農業改良普及課は、生産者・JA・村役場・小学校と連携して、児童の農業への関心が深まるよう活動を続けます。

## ほ場整備とドローン操作を学ぶ ～職場研修を実施～



9月18日、農業改良普及課は基盤整備課と合同ではほ場整備に関する職場研修を室戸支所で実施しました。所長以下25人の職員が参加し、ほ場整備の目的や効果、事業化までの手順、普及の役割等について基盤整備課職員から説明を受けました。その後、ほ場整備予定地の室戸市庄毛地区へ移動し、ドローンの操作についても研修しました。参加者からは「ほ場整備の重要性や普及の役割が理解出来た」「ドローンは災害調査にも使える」などの意見が出ました。

農業改良普及課は、今回の研修内容を地域の営農計画の作成支援等に活かしていきます。